

安全性データシート

改定日: 2022年10月18日

前作成日: 2017年11月21日

SDS番号: 207A-19

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

274 インダストリアル・デグリーサー (エアゾール)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 石油ベースの洗浄剤。産業環境、海洋環境で発生するグリース、オイル、タール、その他類似した水溶性の汚れを溶解します。

使用上の制限: データなし

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: www.chesterton.com

Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHSによる分類

エアゾール、区分 1, H222, H229

吸引性呼吸器有害性、区分 1, H304

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 危険

危険有害性情報: H222

極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。

H229

高圧容器: 熱すると破裂のおそれ。

H304

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

| | | |
|---------|----------|-----------------------------------|
| 使用上の注意： | P210 | 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。 |
| | P211 | 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。 |
| | P251 | 使用後の含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 |
| | P260 | 蒸気/スプレーを吸入しないこと。 |
| | P262 | 眼、皮膚、衣類につけないこと。 |
| | P301/310 | 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 |
| | P331 | 無理に吐かせないこと。 |
| | P410/412 | 日光から遮断し、50° C 以上の温度に暴露しないこと。 |
| | P501 | 許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。 |

補足情報： なし

2.3. その他の危険性

繰り返し接触すると皮膚の乾燥や亀裂を起こすことがあります。

セクション 3： 組成、成分情報

3.2. 混合物

| 危険成分 ¹ | 重量% | CAS番号 | GHS分類 |
|-------------------|-------|------------|---------------------------------------|
| 水素化処理された重ナフサ(石油)* | 80-90 | 64742-48-9 | 引火性液体 4, H227*** 吸引性呼吸器有害性 1, H304 |
| プロパン | 5-10 | 74-98-6 | 引火性ガス 1, H220 圧縮ガス, H280 |
| ブタン** | 5-10 | 106-97-8 | 引火性ガス 1, H220 圧縮ガス, H280 |

*ベンゼンの含有量は0.1 % w/w 以下。**1,3-ブタジエンの含有量は0.1 % w/w 以下です。
H(危険)ステートメントの全文：セクション2.2および16を参照。

¹分類基準：労働安全衛生法，毒物および劇物取締法，GHS

セクション 4： 応急処置

4.1. 応急処置情報

| | |
|--------------|---|
| 吸入： | 新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。直ちに医師の診断を受けてください。 |
| 皮膚への付着： | 石鹸水で皮膚を洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。 |
| 目に入った場合： | 大量の水で目を最低15分間洗い流してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。 |
| 呑み込んだ場合： | 無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。 |
| 応急手当を行う人の保護： | 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当を施している間は製品に触らないでください。蒸気を吸入しないこと。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。 |

4.2. 最も重要な徴候と影響（急性および遅延）

目に入ると刺激を与えます。推奨暴露限度以上の蒸気濃度は目や呼吸器系に刺激を与え、頭痛や目眩を起こすことがあり、知覚麻痺、その他の中枢神経系の異常を起こすことがあります。繰り返し接触すると皮膚の乾燥や亀裂を起こすことがあります。肺に吸込むと化学性肺炎や肺水腫を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5： 火災時の処置**5.1. 消火剤**

適切な消火剤： 二酸化炭素、乾燥薬品、発泡 あるいは 水スプレー

不適切消火剤： 大量の水噴射

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物： 一酸化炭素、アルデヒド、その他の有毒煙。

その他の危険性： 高压容器は加熱すると爆発する危険があります。

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6： 漏出時の処置**6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

その場を退去してください。充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

流出分は小さな場所に回収してください。発火源に近づけないでください。禁煙。発火源が除去できなければ、水で洗い流してください。吸収性の材料（砂、おがくず、クレー等）で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7： 取扱い及び保管上の注意**7.1. 安全な取扱いのための注意**

使用前に十分振ってください。裸火または他の着火源に噴霧しないこと。発火源に近づけないでください。禁煙。使用後は飲食や喫煙の前に手を洗ってください。空気より重い蒸気は低部に溜まります。蒸気が蓄積すると、点火したときに発火や爆発を起こす可能性があります。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

7.2. 安全な保管のための条件（配合禁忌を含む）

加圧容器： 直射日光を避け、50° C 以下で 保管してください。使用後も穴をあけたり焼却したりしないでください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8： 暴露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

| 成分 | 日本産業衛生学会 OEL | | ACGIH TLV | |
|------------------|--------------|-------------------|----------------------------|-------------------|
| | ppm | mg/m ³ | ppm | mg/m ³ |
| 水素化処理された重ナフサ(石油) | N/A | N/A | 171 * | 1200 * |
| プロパン | N/A | N/A | ** | N/A |
| ブタン | N/A | N/A | STEL(短時間 暴露限度): 1000 | N/A |

* 付録Hに記述されたACGIH TLVs®およびBEIs®の「ある種の精製炭化水素溶剤蒸気混合物の相互算出法」に基づく。

** 単なる窒息性

生物学的限界値

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

8.2. 曝露制限

8.2.1. 設備対策

通気の良い場所でのみ使用してください。許容限界を超える場合は、充分換気してください。空気より重い蒸気は低部に溜まります。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護： 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された有機蒸気呼吸マスクを使用してください。(例：欧州規格フィルタータイプ A)。

手袋： 耐薬品性手袋(例：Viton*、ネオプレン、ニトリル)*DuPont 社の登録商標。

目 / 顔の保護： 安全メガネ

その他： 不浸透性の衣服(例：Viton*、ネオプレンあるいはニトリル)を必要に応じて着用し皮膚を保護してください。
*DuPont 社の登録商標。

8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

セクション 9： 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

| | | | |
|-------------------|------------------------------|---------------------------|----------------|
| 形状 | 低粘性の液体 | pH | 適応せず |
| 色 | 透明 | 動粘 | 未定 |
| 臭気 | かすかな臭気 | 水溶性 | ごくわずか |
| においの閾値 | 未定 | 分配係数:n-オクタノール/水 (Log Pow) | > 4, 製品のみ (推定) |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | 188° C, 製品のみ | 20・Cでの蒸気圧 | 適応せず |
| 融点・凝固点 | 未定 | 相対密度 | 0.77 kg/l |
| 揮発率%(容量比) | 100% | 蒸気密度(空気=1) | > 1 |
| 引火性 | 発火可能 | 蒸発率(エーテル=1) | < 1 |
| 高/低引火性あるいは高/低爆発限界 | LEL(爆発下限) 1.2; UEL(爆発上限) 9.9 | 重量比芳香物含有率 (%) | ≤ 0.01%, 製品のみ |
| 引火点 | 61° C, 製品のみ | 爆発性 | 未定 |
| 方法 | タリアブーエ閉カップ | 酸化性 | 未定 |
| 自己発火温度 | 227° C, 製品のみ | 粒子特性 | 適応せず |
| 分解温度 | 未定 | | |

9.2. その他の情報

なし

セクション 10： 安定性及び反応性

10.1. 反応性

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

安定

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

炎、熱、スパーク、および高熱表面。

10.5. 配合禁忌薬品

反応金属、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、アルデヒド、その他の有毒煙。

セクション 11： 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路： 吸引、皮膚や目への付着。既往性皮膚炎のある作業員が晒されると、症状が悪化することがあります。

情報は製品成分についての入手可能なデータに基づいています。製品全体は評価されていません。

急性毒性 -

経口： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

| 物質 | テスト | 結果 |
|------------------|-----------------|--------------|
| 水素化処理された重ナフサ(石油) | 致死量50(LD50)、ラット | > 5000 mg/kg |

経皮： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

| 物質 | テスト | 結果 |
|------------------|-----------------|--------------|
| 水素化処理された重ナフサ(石油) | 致死量50(LD50)、うさぎ | > 5000 mg/kg |

吸入： 推奨暴露限度以上の蒸気濃度は目や呼吸器系に刺激を与え、頭痛や目眩を起こすことがあり、知覚麻痺、その他の中枢神経系の異常を起こすことがあります。入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

| 物質 | テスト | 結果 |
|------------------|----------------------|---------------|
| 水素化処理された重ナフサ(石油) | 致死濃度50(LC50)、ラット、4時間 | > 5 mg/l (蒸気) |
| プロパン | 致死濃度50(LC50)、ラット、4時間 | 658 mg/l |
| ブタン | 致死濃度50(LC50)、ラット、4時間 | 30.96 mg/l |

皮膚腐食性/刺激性： 繰り返し接触すると皮膚の乾燥や亀裂を起こすことがあります。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 水素化処理された重ナフサ(石油)：入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。；目に入るとかすかな刺激を与えることがあります。

呼吸器または皮膚の感作：

| 物質 | テスト | 結果 |
|------------------|----------|-------|
| 水素化処理された重ナフサ(石油) | 皮膚の感作、類推 | 過敏性なし |

胚細胞突然変異原性： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

がん原性： 本製品は、国際ガン研究機関(IARC)あるいは法規(欧州共同体)1272/2008の規定する発がん性物質を含有していません。

生殖毒性： 水素化処理された重ナフサ(石油)：入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

STOT - 単回暴露： 水素化処理された重ナフサ(石油)：一回の暴露では臓器障害を起こすことはないとされています。

STOT - 反復暴露： 水素化処理された重ナフサ(石油)：入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

吸引性呼吸器有害性： 肺に吸込むと化学性肺炎や肺水腫を起こすことがあります。

その他の情報： なし

セクション 12： 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

水生生物に害はないとされています。

12.2. 持続性・分解性

水素化処理された重ナフサ(石油)：空気中で分解性があります。；生分解するかもしれません。本物質は廃水処理設備で除去する必要があります。

12.3. 生物蓄積の可能性

未定

12.4. 土壌中の移動性

液体。非水溶。水に浮きます。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。危険な成分は環境に放出されると急速に空气中に蒸発します。

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13: 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。圧力容器あるいは密封用器は認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

セクション 14: 輸送上の注意**14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: UN1950

14.2. UN固有輸送名

ICAO: Aerosols, Flammable

IMDG: Aerosols

ADR/RID/ADN: Aerosols, *flammable*

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 2.1

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.5. 環境への危険性

環境危険性なし

14.6. ユーザーへの特別な注意

使用に関する特別な注意はなし

14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

IMDG: EmS. F-D, S-U, Shipped as Limited Quantity

ADR: 分類コード 5F, トンネル制限コード (E), Shipped as Limited Quantity

セクション 15: 適用法令**15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR

クラスI薬品:

なし

クラスII薬品:

なし

その他の国内規制:

消防法: 危険物 第4類第2石油類

労働安全衛生法: 危険物(引火性の物)

セクション 16: その他の情報

略語一覧： ACGIH: 米国産業衛生専門家会議
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ATE: 急性毒性推定値
 BCF: 生物濃縮係数
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値
 GHS: 世界調和システム
 ICAO: 国際民間航空機関
 IMDG: 国際海上危険物規定
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量
 LOEL: 最小作用量
 NOEC: 最大無作用濃度
 NOEL: 最大無作用量
 N/A: 該当せず
 PEL: 許容暴露限度
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
 SDS: 安全性データシート
 STEL: 短時間暴露許容濃度
 STOT: 特定標的臓器毒性
 TLV: 暴露限界
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典： 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)
 欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)
 化学分類および情報データベース (CCID)

GHSによる混合物の分類方法:

| 分類 | 分類手順 |
|-------------------|-------|
| エアゾール 1, H222 | 成分ベース |
| 吸引性呼吸器有害性 1, H304 | 成分ベース |

関連するH(危険)-ステートメント： H220: 極めて可燃性/引火性の高いガス。
 H227: 引火性液体。
 H280: 加圧ガス; 熱すると爆発のおそれ。
 H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

その他の情報： なし

本改訂によるSDSの変更： セクション 1.2, 1.3, 2.1, 2.2, 2.3, 3, 4.2, 5.2, 6.1, 6.3, 7.1, 8.1, 9.1, 11, 13, 15.1, 16.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。